



2023年6月23日

各 位

会 社 名 株式会社ユニリタ
代表者名 代表取締役 社長執行役員 北野 裕行
(コード：3800、東証スタンダード)
問合せ先 取締役 上席執行役員 金子 紀子
グループ業務本部長
(TEL. 03-5463-6381)

(訂正・数値データ訂正)「2023年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

2023年5月12日に公表いたしました「2023年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」の記載内容に一部誤りがありましたのでお知らせいたします。また、数値データにも訂正がありましたので、訂正後の数値データも送信いたします。

記

1. 訂正の理由

「2023年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の発表後に、開示内容の一部に誤りがあることが判明したため、これを訂正するものです。

2. 訂正の内容

訂正箇所については、下線 を付して表示しております。

①サマリー情報

1. 2023年3月期の連結業績(2022年4月1日～2023年3月31日)

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

(訂正前)

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年3月期	<u>1,516</u>	<u>△232</u>	△513	8,053
2022年3月期	644	69	△777	7,280

(訂正後)

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年3月期	<u>1,486</u>	<u>△201</u>	△513	8,053
2022年3月期	644	69	△777	7,280

②添付資料 4 ページ

1. 経営成績等の概況

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

(訂正前)

当期末における現金及び現金同等物(以下、資金)は前期末と比較して7億73百万円増加し、80億53百万円となりました。当期における各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は15億16百万円となりました。主な資金増加要因は、税金等調整前当期純利益の計上10億83百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は2億32百万円となりました。主な資金減少要因は、ソフトウェア開発に伴う無形固定資産の取得による支出2億67百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は5億13百万円となりました。支出の主な内容は、配当金の支払額5億12百万円であります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期
自己資本比率(%)	75.9	74.9	75.9	76.4	74.9
時価ベースの自己資本比率(%)	89.9	82.3	100.4	94.4	90.2
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(年)	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	158.1	779.3	1,318.3	1,809.0	10,619.0

(注1) キャッシュ・フロー関連指標の算出方法は以下のとおりであります。

- ・自己資本比率：自己資本／総資産
- ・時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産
- ・キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー
- ・インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

(注2) 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により算出しております。

(注3) 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数(自己株式控除後)により算出しております。

(注4) 該当する算出数値がない場合には「-」で表記しております。

(注5) 有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象とし、利払いにつきましては連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

(訂正後)

当期末における現金及び現金同等物(以下、資金)は前期末と比較して7億73百万円増加し、80億53百万円となりました。当期における各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は14億86百万円となりました。主な資金増加要因は、税金等調整前当期純利益の計上10億83百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は2億1百万円となりました。主な資金減少要因は、ソフトウェア開発に伴う無形固定資産の取得による支出2億37百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は5億13百万円となりました。支出の主な内容は、配当金の支払額5億12百万円であります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期
自己資本比率(%)	75.9	74.9	75.9	76.4	74.9
時価ベースの自己資本比率(%)	89.9	82.3	100.4	94.4	90.2
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(年)	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	158.1	779.3	1,318.3	1,809.0	10,404.6

(注1) キャッシュ・フロー関連指標の算出方法は以下のとおりであります。

- ・自己資本比率：自己資本／総資産
- ・時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産
- ・キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー
- ・インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

(注2) 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により算出しております。

(注3) 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数(自己株式控除後)により算出しております。

(注4) 該当する算出数値がない場合には「-」で表記しております。

(注5) 有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象とし、利払いにつきましては連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(訂正前)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	827,413	1,083,310
減価償却費	325,964	395,547
減損損失	80,323	46,875
のれん償却額	75,945	75,945
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△550	-
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△10,843	20,408
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	8,918	△35,582
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	△1,736	-
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	8,383	-
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	21,449	10,906
受取利息及び受取配当金	△98,541	△126,370
支払利息及び社債利息	356	142
持分法による投資損益 (△は益)	-	△21,531
固定資産売却損益 (△は益)	△18,264	-
投資有価証券売却損益 (△は益)	△73,268	-
投資有価証券評価損益 (△は益)	11,893	-
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	△63,845	△171,122
棚卸資産の増減額 (△は増加)	9,929	6,719
仕入債務の増減額 (△は減少)	13,277	127,300
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△37,599	45,433
長期未払金の増減額 (△は減少)	△11,454	△20,221
未払費用の増減額 (△は減少)	△41,215	117,219
その他	△34,019	61,508
小計	992,516	1,616,489
利息及び配当金の受取額	100,935	128,560
利息の支払額	△356	△142
法人税等の支払額	△448,340	△259,001
法人税等の還付額	123	31,042
営業活動によるキャッシュ・フロー	644,879	1,516,948
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,282,601	△1,282,601
定期預金の払戻による収入	1,292,607	1,282,600
有形固定資産の取得による支出	△45,950	△13,905
有形固定資産の売却による収入	112,539	37,146
無形固定資産の取得による支出	△427,415	△267,733
投資有価証券の売却による収入	87,543	-
投資有価証券の償還による収入	300,000	-
差入保証金の差入による支出	△32,155	△2,731
差入保証金の回収による収入	86,083	1,825
その他の支出	△26,104	△34
その他の収入	4,778	13,139
投資活動によるキャッシュ・フロー	69,326	△232,294

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△3,544	△1,114
自己株式の取得による支出	△267,551	-
配当金の支払額	△506,222	△512,465
財務活動によるキャッシュ・フロー	△777,318	△513,579
現金及び現金同等物に係る換算差額	10,397	2,622
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△52,714	773,697
現金及び現金同等物の期首残高	7,332,893	7,280,179
現金及び現金同等物の期末残高	7,280,179	8,053,876

(訂正後)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	827,413	1,083,310
減価償却費	325,964	362,981
減損損失	80,323	46,875
のれん償却額	75,945	75,945
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△550	-
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△10,843	20,408
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	8,918	△35,582
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	△1,736	-
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	8,383	-
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	21,449	10,906
受取利息及び受取配当金	△98,541	△126,370
支払利息及び社債利息	356	142
持分法による投資損益 (△は益)	-	△21,531
固定資産売却損益 (△は益)	△18,264	-
投資有価証券売却損益 (△は益)	△73,268	-
投資有価証券評価損益 (△は益)	11,893	-
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	△63,845	△171,122
棚卸資産の増減額 (△は増加)	9,929	6,719
仕入債務の増減額 (△は減少)	13,277	127,300
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△37,599	45,433
長期未払金の増減額 (△は減少)	△11,454	△20,221
未払費用の増減額 (△は減少)	△41,215	117,219
その他	△34,019	63,450
小計	992,516	1,585,866
利息及び配当金の受取額	100,935	128,560
利息の支払額	△356	△142
法人税等の支払額	△448,340	△259,001
法人税等の還付額	123	31,042
営業活動によるキャッシュ・フロー	644,879	1,486,324
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,282,601	△1,282,601
定期預金の払戻による収入	1,292,607	1,282,600
有形固定資産の取得による支出	△45,950	△13,905
有形固定資産の売却による収入	112,539	37,146
無形固定資産の取得による支出	△427,415	△237,109
投資有価証券の売却による収入	87,543	-
投資有価証券の償還による収入	300,000	-
差入保証金の差入による支出	△32,155	△2,731
差入保証金の回収による収入	86,083	1,825
その他の支出	△26,104	△34
その他の収入	4,778	13,139
投資活動によるキャッシュ・フロー	69,326	△201,670

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△3,544	△1,114
自己株式の取得による支出	△267,551	-
配当金の支払額	△506,222	△512,465
財務活動によるキャッシュ・フロー	△777,318	△513,579
現金及び現金同等物に係る換算差額	10,397	2,622
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△52,714	773,697
現金及び現金同等物の期首残高	7,332,893	7,280,179
現金及び現金同等物の期末残高	7,280,179	8,053,876

以 上